

沢訓練 「幌別鉱山 滝沢」

日 程 令和3年7月4日(日)

参加者 CL 小山内、(滝チーム) L 澤田、SL 安藤、水江、宇田、太田、増川
(沢チーム) L 渡邊、SL 宇佐美、酒井、八重樫、川村、嶋原

林道ゲートP場で装備点検、ミーティングを行い出発(8.25)。天気予報では曇り後に晴れ、気温は19度。シーズン初めての入渓(8.50)冷たく感じるが苔生した石や岩、ナメ床と続き遡行が楽しい。大岩(9.30)で先行をチーム交代、380二股の右股は階段状になり、張り付いた苔は侘び寂びの世界。

小釜の「へつり」足場が微妙、落ちてでも深くはないのでトライ! 滑り落ちた!!

(下りの時にÑちゃん、ザイルで体が反ってユラユラ、入水か?必死に耐えてセーフ♡)

トイ状直曝は設置ザイルはあるが、滑りやすくトラバースもあります。450大滝と訓練をかねてザイルで確保。

源頭の設置ザイルで泥壁を登りきると、藪漕ぎ無しで縦走路に出る(11.30)。日が差し暖かいコルでの昼食後に下山(12.10)。懸垂下降が初めての人、ロープワークが不慣れなど、怪我の多くは下りで発生する事から、慎重に2度のエイト環での下降を行う。ザイルを使わないでチャレンジ。落ちた!!釜を泳いでいます。又、落下です。胸まで水没ですが、強がりか冷たいとは言いません。

林道ゲートP場(15.20)到着。

足元の変化に対応、手足をフル回転させて滝を登り岩を越える。溪相の美しさ夏は沢ダベサを実感する。



近郊一番のナメ床



二股の右側を登る



トイ状直曝 懸垂下降 記 酒井



縦走路コル